

えつくすせんてんもんえいせい かんそく もくせい ほうしゃせんたい
X 線天文衛星「すざく」で観測された、木星の「放射線帯」

たいようけいわくせい ぼ す もくせい
太陽系惑星のボス、木星。

もくせい ちきゅう ばい ちよっけい たいようけい さいだい わくせい
木星は、地球の 11倍もの直径をもつ、太陽系で最大の惑星で

もくせい ちきゅう きょうりょく じしゃく もくせい
す。木星も地球も、強力な「磁石」ですが、木星ひとつ分の

じりょく える ちきゅうに まん こぶん じりょく ひつよう もくせい
磁力を得るには、地球20000個分の磁力が必要です。木星

まわり うちゅう ひかり はやさ ちかいはやさ りゅうし とびまわって
の回りの宇宙では、光の速さに近い速さで粒子が飛び回って

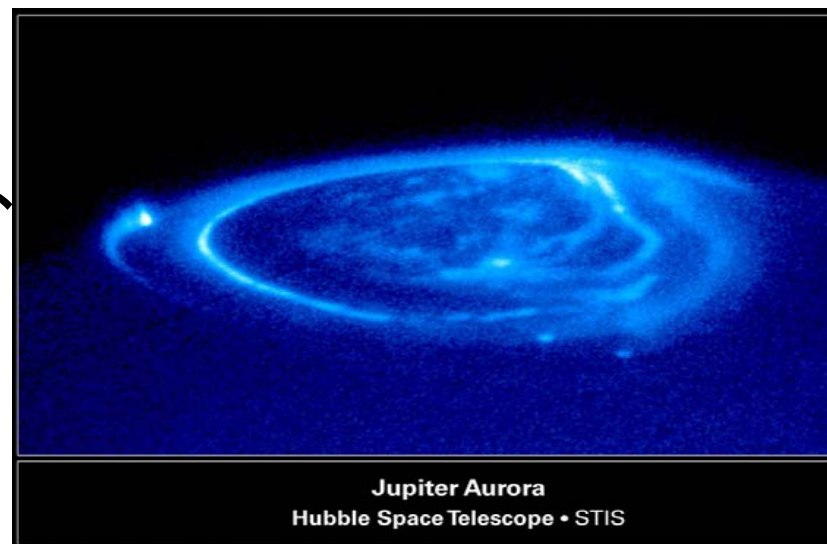
りょういき ほうしゃせんたい
いる領域があり、「放射線帯」と

よばれて えいせい
呼ばれています。「すざく」衛星は、

もくせい ほうしゃせんたい かたち め
木星の「放射線帯」の形を、目に

みえない えっくすせん ひかり
見えない「X線」という光で

とらえました
捉えました。



もくせい ほっきょく かがやいて なさ
木星の北極で輝いている「オーロラ」(NASA)